

平成30年3月の高等学校学習指導要領の改訂に対応した各大学の令和6年度に実施する入学者選抜の変更等が、入学志願者の準備に大きな影響を及ぼすことが予想されることから、各大学の2年前予告（遅くとも令和4年度末）を速やかに行えるように令和3年3月31日「大学入学者選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議審議のまとめ」及び同年7月8日「大学入試のあり方に関する検討会議提言」等を踏まえ、大学入学者選抜実施要項等の見直し内容を予告（令和3年7月30日）。

## 基本方針

- 提言において整理された大学入学者選抜の三原則※を基本方針に反映。

≪大学入学者選抜の三原則≫

- ①当該大学での学修・卒業に必要な能力・適性等の判定
  - ②受験機会・選抜方法における公平性・公正性の確保
  - ③高等学校教育と大学教育を接続する教育の一環としての実施
- 多様な背景を持った学生の受入れ配慮対象の例示として障害の有無、居住地域を追加。

## 入試方法

- 「一般選抜」とそれ以外という整理を「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」に再整理。
- 入学者の多様性を確保する観点から、入学定員の一部分について、以下のような者を対象として選抜を工夫。
  - ・専門学科・総合学科卒業生、帰国生徒、社会人
  - ・家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難がある者その他（理工系分野における女子等）の者※

※この場合は入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視し、評価・判定。

## 学力検査等

- 「自らの考えを論理的・創造的に形成する思考・判断の能力」や「思考・判断した過程や結果を的確に、更には効果的に表現する能力」の評価充実のため、可能な範囲で記述式の導入を要請。
  - ・各大学のアドミッション・ポリシーに基づき、可能な範囲で記述式の検査方法を取り入れることが望ましい。
- 総合的な英語力を適切に評価・判定する観点から、資格・検定試験等の活用を従来どおり規定。
- 家庭環境や居住地域により、資格・検定試験等を受検することの負担が大きい入学志願者への配慮要請。
  - ・資格・検定試験等の結果を利用しない選抜区分の設定
  - ・個別学力検査と資格・検定試験等の結果の選択的利用 等
- 令和7年度入学者選抜に係る共通テストより「簿記・会計」「情報関係基礎」が廃止されることに伴い、専門高校生の進学機会の確保への対応として、資格・検定試験等の活用を要請。

## 障害者への合理的配慮

- 障害のある入学志願者への合理的配慮の充実を図るため、以下のことを要請。
  - ・障害のある入学志願者一人一人の個別のニーズを踏まえた建設的対話を行うこと。
  - ・相談窓口、支援相談部署等を設置するなど事前相談体制の構築・充実に努めること。

## 調査書様式の見直し

- 簡素化された指導要録の参考様式に合わせて、調査書様式の簡素化等を行う。枚数は表裏の両面1枚とする。



# 令和7年度大学入学者選抜実施要項の予告（概要）③

（令和3年7月30日付3文科高第471号 文部科学省高等教育局長通知）

## （別添）令和7年度大学入学者選抜実施要項見直しイメージ（案）【調査書様式（裏面）】

### 令和4年度大学入学者選抜実施要項 別紙様式

### イメージ案

（裏）

※	※	※	※							
5. 総合的な学習の時間の内容・評価	活動内容									
	評価									
6. 特別活動の記録	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年						
7. 指導上参考となる諸事項	第1学年	(1)学習における特徴等 (4)取得資格、検定等 (注)専門学校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定の内容、取得スコア・取得時期等	(2)行動の特徴、特技等 (5)表彰・顕彰等の記録 (注)各種大会やコンクール等の内容や時期、科学オリンピック等における成績、時期 国際バカロレアなど国際通用性のある大学入学資格試験における成績、時期等	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (注)具体的な取組内容、期間等 (6)その他 (注)生徒が自ら関わってきた諸活動など						
	第2学年	(1)学習における特徴等 (4)取得資格、検定等	(2)行動の特徴、特技等 (5)表彰・顕彰等の記録	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6)その他						
	第3学年	(1)学習における特徴等 (4)取得資格、検定等	(2)行動の特徴、特技等 (5)表彰・顕彰等の記録	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6)その他						
	第4学年	(1)学習における特徴等 (4)取得資格、検定等	(2)行動の特徴、特技等 (5)表彰・顕彰等の記録	(3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6)その他						
	8. 備考									
	9. 出欠の記録									
	区分	学年				区分	学年			
	授業日数	1	2	3	4	欠席日数	1	2	3	4
	出席停止・忌引き等の日数					出席日数				
	留学中の授業日数					備考				
	出席しなければならぬ日数									
	この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する 令和 年 月 日 学校名 所在地 校長名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">印</span> 記載責任者職氏名 <span style="float: right;">☉</span>									

（裏）

※	※	※	※					
5. 総合的な探究の記録	学習活動	観点	評価					
	各学校が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、生徒にどのような力が身に付いたかを端的に記述する。							
6. 特別活動の記録	内容	観点	学年					
	ホームルーム活動		1 2 3 4					
	生徒会	文章記述を改め、各学校が設定した観点到照して十分満足できる活動状況であると判断される場合、○印を記入する。						
	学校行事							
7. 指導上参考となる諸事項	第1学年							
	第2学年	要点を箇条書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめる。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記述された内容を元に記入する。						
	第3学年							
	第4学年							
8. 備考								
9. 出欠の記録								
区分	学年			区分	学年			4
授業日数				欠席日数				
出席停止・忌引き等の日数				出席日数				
留学中の授業日数				備考				
出席しなければならぬ日数								
この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する 令和 年 月 日 学校名 所在地 校長名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">印</span> 記載責任者職氏名 <span style="float: right;">☉</span>								